

令和7年度 第2回福津市観光産業活性化協議会 次第

日時	令和8年2月4日(水) 午後3時00分～
会場	福津市立図書館2階 研修室3
委員	<input type="checkbox"/> 永松 毅文 <input type="checkbox"/> 小役丸 秀一 <input type="checkbox"/> 浄見 譲 <input type="checkbox"/> 花田 千賀子 <input type="checkbox"/> 紺屋 良治 <input type="checkbox"/> 塩川 浩一 <input type="checkbox"/> 小島 恵 <input type="checkbox"/> 大隈 信彦 <input type="checkbox"/> 山口 尚志
事務局	<input type="checkbox"/> 経済産業部長 高山 康和 <input type="checkbox"/> 観光振興課長 波多野 哲平 <input type="checkbox"/> 観光振興係長 緒方 康裕 <input type="checkbox"/> 観光振興係長 村上 尚寛

1. 開会

- ・会議録の作成方針の決定

2. 議事

- (1) 観光基本計画に基づく取り組み状況について(資料1)

3. その他報告

- ・公募委員の募集について

3. 閉会

■次回開催日 令和8年3月 日 () 午後 時 分 ～
会場 福津市役所

第2次福津市観光基本計画 概要 (計画期間：令和2(2020)年度～令和11(2029)年度)

●策定の目的

・第1次福津市観光基本計画(2010年度～2019年度)の考え方を引き継ぐとともに、変化し続ける社会情勢に対応するため、福津市における観光分野の総合的・計画的な指針、及び市民・事業者・団体・行政が福津市の観光振興に取り組む際の基本的な方向を示し、観光客の誘致を促進するとともに、市内の多彩な観光資源の高付加価値化や連携を図って回遊性を高め、観光事業を充実させて消費、雇用、創業、社会基盤の整備等を生み出し、地域産業の活性化を図ることを目指し策定します。

●背景

・福岡・北九州両政令指定都市に近接し地理的条件・交通アクセスにも恵まれて、年間で570万人という決して少なくはない観光客を迎えながら、それが直ちに地域経済の浮揚やまちの活性化に結びついていない。

観光振興の成果と課題

●観光振興の成果

H22年、福津市観光産業活性化協議会を市・商工会・観光協会・市民代表・学識経験者で組織。「もてなし力の開発」では鯛茶づけフェアをはじめとする11事業を展開。「発信力の向上」では事業に伴う広報・広告を積極的に行うとともに独自事業として観光PR動画を作成。観光入込客数は570万人超(H30現在)。

●課題

- 【観光客の周遊】
宮地嶽神社を中心に観光地を周遊できる対策
- 【PR・宣伝】
観光地の露出やPR、特産物等の宣伝。若い世代や女性に向けた情報発信
- 【案内・看板】
目に入りやすく分かりやすい案内や看板、商品の説明等
- 【交通アクセス】
バスの本数を増やす以外での交通アクセスの改善
- 【宿泊】
宿泊施設の整備や施設の情報の発信
- 【体験・イベント】
体験できる場や他地域と重複しないイベントの内容等の工夫
- 【インバウンド】
外国語の案内標識やメニュー等の外国人観光客への対策
- 【連携・体制】
団体や事業者間の連携を強化、受入れ態勢を整備

視点・目標像

【目標像】福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち

地域活性化のためには、市外の人々との観光以上移住未満の「関係人口」をつくることが重要だと言われています。観光を産業の柱のひとつとしてとらえ直し、福津の魅力を生かした持続可能な観光という新たな経済基盤をつくりまします。

【視点】地域総体産業として取り組む(地域産業の活性化、波及効果) ※継続

観光振興へ取り組むことにより、宿泊、飲食、物販、交通等の地域の観光関連産業の活性化だけではなく、地域社会全体の産業への波及効果が期待されます。具体的には、物産、飲食のための原材料を生産する農林水産業、これを加工流通するための製造業、運輸業、商品をデザイン開発する対事業所サービス業などは、観光関連産業の周辺に位置し、さらにこれらの事業所で働く人々のための生活サービスをはじめとした地域のサービス産業などへの波及もあることから、観光振興は、地域総体産業として位置づけられます。

成果指標

○観光入込客数

※福岡県観光入込客数推計調査報告分

5,733千人 ⇒ 6,703千人
(2018年度 ⇒ 2029年度)

○観光消費額

※1人あたり旅行消費額×観光入込客数

14,378百万円 ⇒ 18,054百万円
(2018年度 ⇒ 2029年度)

○延べ宿泊者数

※福岡県観光入込客数推計調査報告分

14千人 ⇒ 100千人
(2018年度 ⇒ 2029年度)

○満足度

※基礎調査結果

81.6% ⇒ 86.6%
(2018年度 ⇒ 2029年度)

○リピーター率

※基礎調査結果

64.4% ⇒ 69.4%
(2018年度 ⇒ 2029年度)

基本方針

○基本方針1
国内外の人が何度も訪れたい魅力
を磨く(観光資源の魅力向上)
本市の財産である自然資源・歴史資源・景観資源等をしっかりと守りつつ生かして、国内外の人が何度も訪れたいまちをめざします。

○基本方針2
観光拠点を整備し、観光消費額を拡大
する(受入環境の充実)
市内中心部に位置する宮地嶽神社エリア、海岸エリア、津屋崎千軒エリアの主要拠点の整備と、市内に点在する世界遺産の古墳群エリア、畦町エリア、自然公園やキャンプ場、直販施設への誘導を促進します。

○基本方針3
ブランドの構築や管理、販売促進のた
めの活動を強化する(効果的な情報発信)
「福津」のブランド・イメージを効果的に伝え、市内外の方々が福津に関心を持ち、愛着を感じてもらえるように、ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化します。

基本施策

- 地場産食材を使った福津らしい食の開発・普及
- 福津の目玉となる特産品の発掘・磨き上げ
- 自然環境資源や歴史・文化資源の魅力発掘・磨き上げ
- 自然環境、歴史・文化、産業等の資源を生かした体験、交流型観光の推進
- 異分野との連携・組み合わせ等による新たな観光資源の創出

- 観光案内の充実
- 観光交流施設・地域の機能強化
- 移動しやすい交通基盤の整備
- 市内宿泊環境の向上と改善
- 福津産品の消費拡大
- 多言語対応等の促進
- 観光人材の発掘と市民意識の向上

- 各種媒体を通じた広告・パブリシティの強化
- 市内観光関係機関・団体との連携による共同プロモーション
- 市独自の観光情報発信の強化
- 自治体等との連携による情報発信及び誘客推進

推進体制

- 福津市観光産業活性化協議会の再編
- (一社)ふくつ観光協会の機能強化と日本版DMOに相当する組織・事業実施体制の確立

基本方針	基本施策	R5 年度の取組み	実績	R6 年度の取組み	実績	R7 年度の取組み (参考)	実績	観光入込客数・観光消費額・延べ宿泊者数・満足度・リピーター率(成果指標)への効果 【R5・R6 比較評価】	基本方針に対する協議会の評価・意見
1 国内外の人が何度も訪れたい魅力をもつ	(1) 地場食材を使った福津らしい食の開発・普及	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/9、4/23「いちごウォーク」(観光協会) ・ 5/6～5/7「ふくつ鯛まつり」(いいざい) ・ 5/17～6/25「ふくつの鯛茶づけフェア」(DMO) ・ 7/22～7/23「さざえ祭り」(いいざい) ・ 10/11～11/19「光の道開運スイーツフェア」(DMO) ・ 3/3「ふくつスイーツウォーキング」(観光協会) ・ おいしい福津実行委員会発足(DMO) 	<ul style="list-style-type: none"> 11名参加 — 7,599食 — 3,275食 199名参加 — 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/7、4/21「いちごウォーク」(観光協会) ・ 5/17～6/30「ふくつの鯛茶づけフェア」(DMO) ・ 9/14～11/10「筑前玄海イカフェア」(DMO) ・ 2/18～3/30「光の道開運スイーツフェア」(DMO) ・ 3/16「ふくつスイーツウォーキング」(観光協会) ・ おいしい福津実行委員会開催(DMO) 	<ul style="list-style-type: none"> 24名(2回開催) 7,840食 5,802食 2,393食 271名参加 — 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/6、4/20「いちごウォーク」(観光協会) ・ 5/16～6/29「ふくつの鯛茶づけフェア」(DMO) ・ 9/13～11/10「筑前玄海イカフェア」(DMO) ・ 2/17～3/22「光の道開運スイーツフェア」(DMO) ・ 11/8「ふくつスイーツウォーキング」(観光協会) ・ おいしい福津実行委員会開催(DMO) 	<ul style="list-style-type: none"> 18名(2回開催) 8,076食 6,165食 — — — 	<p>福津の食の魅力の発信は積極的に実施できており、観光入込客数及び観光消費額に寄与している。食フェアの来訪者アンケート結果では、期待以上(とても良かった)という割合が7割～9割と高い結果となり、リピーターも一定数いることが確認できた。</p> <p>また、観光協会主催のスイーツウォーキングの参加者も増加しており、観光入込客数及び観光消費額に大きく寄与していると考えます。</p>	

(2)	<p>福津の目玉となる特産品の発掘・磨き上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福津の極み」認定事業（商工会） ・いいざいによる商品開発（いいざい） 	<p>延べ 38 品目</p> <p>1 品目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福津の極み」認定事業（商工会） ・いいざいによる商品開発（いいざい） 	<p>延べ 42 品目</p> <p>5 品目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福津の極み」認定事業（商工会） ・いいざいによる商品開発（いいざい） 	<p>延べ 42 品目</p> <p>9 品目 (リニューアル4品目)</p>	<p>福津の極みは、福津ブランドとして福津市商工会の福津の極み協議会が認定しており、商工部門の比重が大きい。認定品目数は令和5年度と令和6年度を比較すると4品目増加している。</p> <p>また、地域商社である いいざいによる商品開発は、鯛をはじめ、イカやサザエといった海産物、トマト、ブロッコリー、カリフラワーといった農産物等、福津市ならではの食材を活用した商品開発を実施している。</p> <p>これらの取り組みは観光 PR 素材の増加と捉えることができ、観光消費額に寄与するものとする。</p>	
(3)	<p>自然環境資源や歴史・文化資源の魅力発掘・磨き上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイド会による新原・奴山古墳群展望所案内業務（市） ・3/3、3/17「ふくつの古墳まつり」（観光協会） ・インスタフォトコン（DMO） 	<p>約 43 名 /日案内</p> <p>約 1,700 名参加</p> <p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイド会による新原・奴山古墳群展望所案内業務（市） ・3/2、3/16「ふくつの古墳まつり」（観光協会） ・インスタフォトコン（DMO） 	<p>約 40 名 /日案内</p> <p>約 900 名参加</p> <p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイド会による新原・奴山古墳群展望所案内業務（市） ・3/8「ふくつの古墳まつり」（観光協会） ・8/30～8/31「福津バル 2025」（DMO・観光協会） 	<p>約 44 名 /日案内 (4～12月)</p> <p>—</p> <p>チケット 1,446 枚利用</p>	<p>新原・奴山古墳群展望所での案内業務は基本、土日祝に実施している。1日あたりの案内件数は横ばいであり、古墳群には安定的・継続的に来訪者が来ていることを示しており、受入体制の充実化に寄与している。さらに、古墳まつりとの相乗効果により、歴史文化資源の磨き上げと世界遺産の周知・啓発にも寄与しているとする。</p> <p>また、R7に復活開催した福津バルにおいても、海岸エリアの賑わいづくりと観光消費額の増加にも大きく寄与した取り組みであったとする。</p>	

	(4)	自然環境、歴史・文化、産業等の資源を生かした体験、交流型観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福津暮らしの旅 (DMO) 9名参加 (1企画) ・ 暮らしの旅宿泊モニターツアー (DMO) 9名参加 (1日程開催) ・ 福津市モニターバスツアー (観光協会) 延べ 23名参加 ・ 宮地嶽自然歩道トレッキング (観光協会) 延べ 129名参加 (5回開催) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 福津暮らしの旅 (DMO) 21名参加 (3企画) ・ 暮らしの旅宿泊モニターツアー (DMO) 23名参加 (2日程開催) ・ 体験型 SUP&カフェツアー (DMO) 3名参加 ・ 宮地嶽自然歩道トレッキング (観光協会) 延べ 129名参加 (6回開催) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮地嶽自然歩道トレッキング (観光協会) 延べ 36名参加 (12月末時点 3回開催) ・ 福津めぐり～宮地嶽神社の風鈴まつりを見に行こう～ (観光協会) 約 30名参加 		観光協会主催の宮地嶽自然歩道トレッキングは参加者の8割は市外在者とのことで、観光入込客数に寄与したものとする。 また、同じく観光協会主催の「福津めぐり」は体験プログラムとして宮地嶽神社の風鈴まつりの時期に合わせて開催され、宮地嶽神社に行くまでの食事処等の情報を発信し、周遊性の向上と観光入込客数や観光消費額に寄与したものとする。 ※なお、DMOが実施していた体験プログラム「福津暮らしの旅」事業は R6 をもって事業終了。	
--	-----	-----------------------------------	--	--	---	--	--	--	---	--

(5)	異分野との連携・組み合わせ等による新たな観光資源の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラマロケ候補地等の情報提供（市・DMO） ・6/3、10/14JR九州ウォーキング（JR・市・DMO観光協会） 	<p>—</p> <p>1,427名参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラマロケ候補地等の情報提供（市・DMO） ・6/1、10/5JR九州ウォーキング（JR・市・DMO・観光協会） ・玄海灘 HANABI（観光協会） 	<p>—</p> <p>1,674名参加</p> <p>26,585名来場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドラマロケ候補地等の情報提供（市・DMO） ・5/31、9/27JR九州ウォーキング（JR・市・DMO・観光協会） 	<p>—</p> <p>1,605名参加</p>	<p>JR九州が春と秋の年2回開催しているJR九州ウォーキングは、市外から多くの参加者が集まり、約10kmのコースを周遊するため、周遊性の向上と観光入込客数及び観光消費額に寄与していると考ええる。</p> <p>ふくつフェスティバルはR5から開催しているイベントとして市内はもちろん、市外からも多く集客しており、観光入込客数や観光消費額に寄与していると考ええる。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・11/11～11/12ふくつフェスティバル in イオンモール福津（観光協会） 	<p>約1万人来場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10/12～10/13ふくつフェスティバル in イオンモール福津（観光協会） 	<p>約1名来場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10/4～10/5「ふくつフェスティバル in イオンモール福津（観光協会）」 	<p>約1名来場</p>	